



今回の質問はこちら。

ペンネーム：りん さん からの質問  
なんでシマウマはしましまなのですか？

どうしてシマウマにシマシマ模様があるのかは、進化論で有名なチャールズ・ダーウィンも「なんでだろう？」と思っていたようです。実は未だに、これだ！という答えは見つかっていませんが、これまでに世界中の研究者が様々な仮説を発表しています。

今回は、そんな不思議が詰まったシマシマ模様の仮説を紹介していきたいと思えます。

1つ目は、「群れることでシマシマ模様が合わさり、肉食動物が狙いを定めにくくなる」という説。シマウマが集まっていると、確かに1頭ずつがわかりにくくなります。



2つ目は、「草原にいる時、模様がカモフラージュになる」という説です。1頭でいても、草に紛れてわかりにくくなるのではないか、という説ですね。

3つ目は、「シマウマが個体を見分けるため」という説。実は、同じように見えるシマシマ模様は、個体によって微妙に違います。飼育員も模様で個体を見分けていますが、シマウマも同じく模様で個体を見分けているのではないかと、という説です。



4つ目は、「血を吸うハエから狙われにくくするため」という説。ウシを黒と白のシマシマ模様に塗ったところ、何も塗らなかった場合や、黒地に黒のシマシマ模様に塗った場合と比べ、体にとまるアブが少なくなった、という研究結果があります。どうやら黒と白のシマシマ模様には虫の視覚を混乱させる作用があるようで、それにより、シマウマの体に虫がとまりにくくなるようです。結果的に、シマシマ模様は虫よけの効果を果たしているのではないかと考えられています。

5つ目は、「色の違いによって空気の流れを発生させ、体温を低く保たせる」という説。体色の違いによって空気に温度差が出ると、それに伴い、空気に流れが生まれます。その空気の流れによって、体温が上がりすぎないようにしているのではないかと、ということです。目には見えない部分にも理由があるのかもしれませんが。

このように、たくさんの説があるシマウマのシマシマ模様。みなさんは、どの説が有力だと思いますか？